

PRAS

公共コミュニケーション学会
Public Relations Association for Social sectors

人むすびの場
2014.5.20

なぜ今、
公共コミュニケーション学会
**Public Relations Association for
Social Sectors (PRAS)**
を設立するのか

会長理事
(東海大学文学部広報メディア学科)
河井孝仁

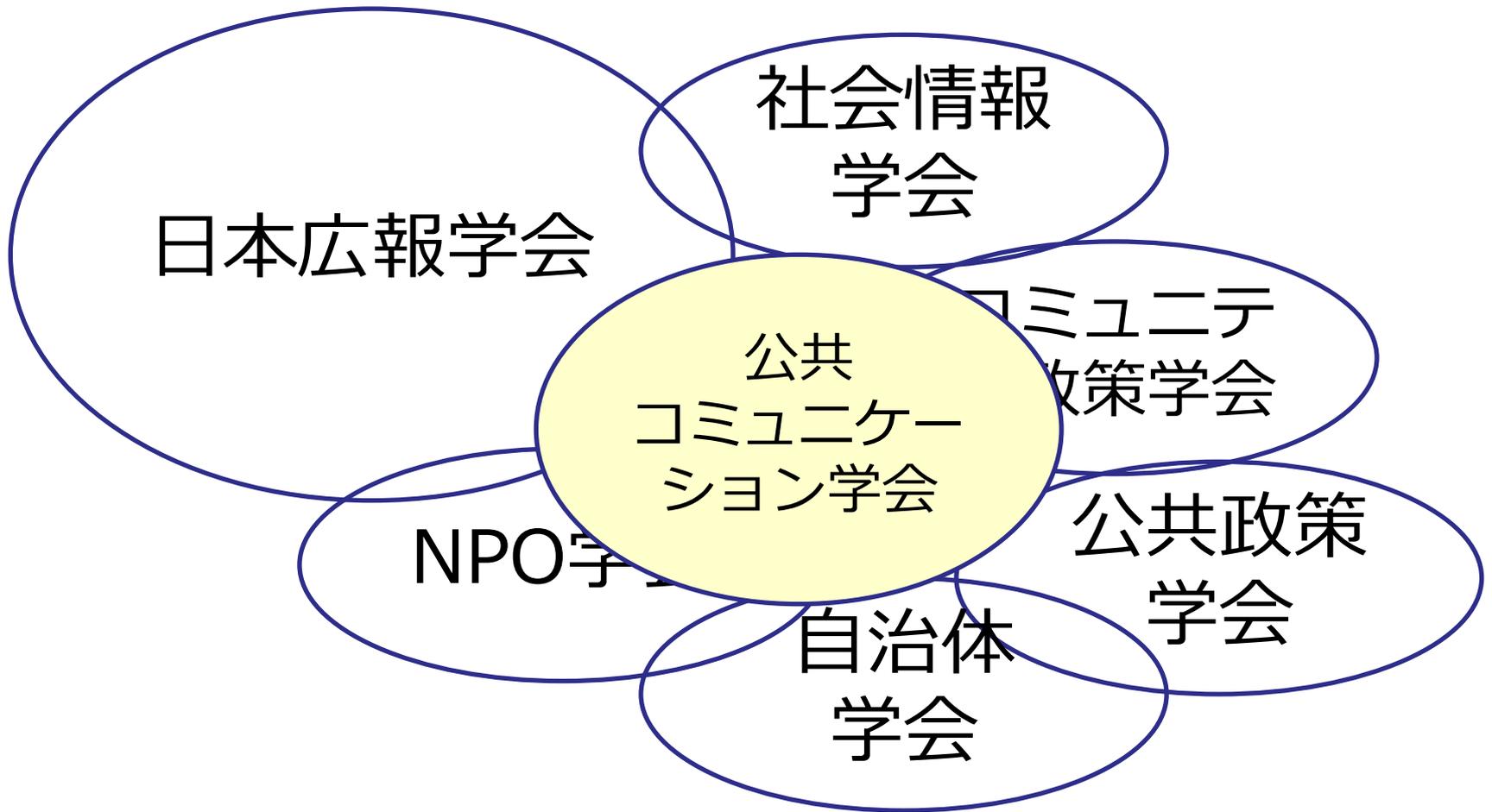
KAWAI Takayoshi

背景

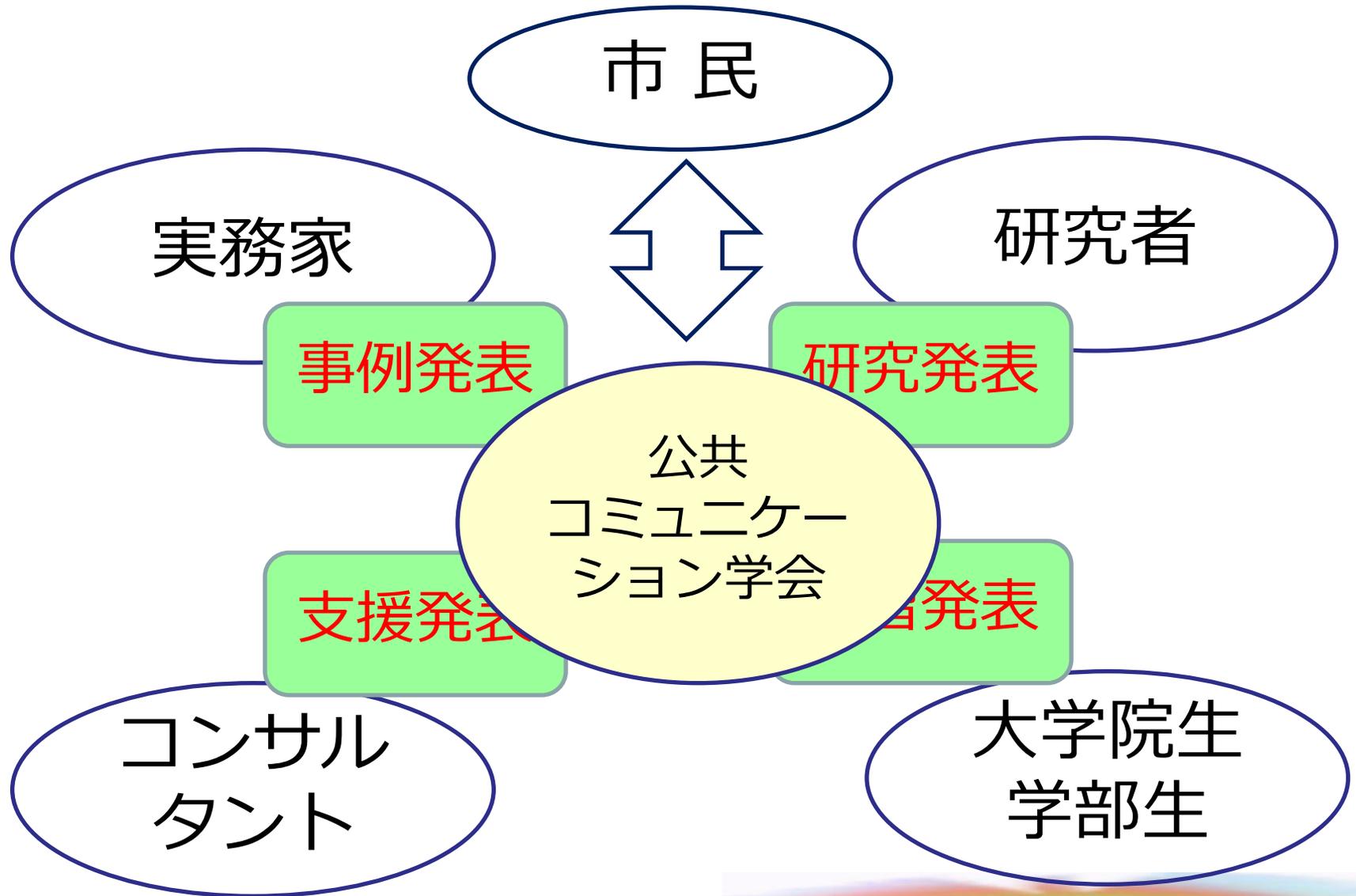
- 行政・議会・大学・**NPO**・医療福祉・ソーシャルビジネスにおける
- 広報や
ステークホルダーとのコミュニケーションに、
- 実務や研究で関わる皆さまの
- 交流と研鑽の場として、
- 公共コミュニケーション学会を設立する運びとなりました。



研究の場として



相互研鑽・交流・協働の場として



協働のステップ

- ① 公共コミュニケーションの各フェイズを実現するための、主体 A（私たち）の弱み確認

	主体	強み	弱み
主体 A	現在		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> W T </div> ①自己弱み確認
	将来		
主体 B	現在		
	将来		

協働のステップ

- ② 確認できた主体 A（私たち）の弱みを補完できる協働相手（候補）主体 B を探索

	主体	強み	弱み
主体 A	現在		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> W T </div> ① 自己弱み確認
	将来		
主体 B	現在	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> S O </div> ② 相手探索	
	将来		

協働のステップ

③ 各フェイズを実現するための協働相手（候補）主体 B の弱み確認

－ 協働相手（候補）主体 B に弱みがない場合

	主体	強み	弱み
主体 A	現在		W
	将来		T
主体 B	現在	S	W
	将来	O	t

① 自己弱み確認

② 相手探索

③ 相手弱み確認

協働のステップ

- ④ 協働相手（候補）主体 B の弱みを補完できる主体 A（私たち）の強み確認

－インセンティブ設計

	主体	強み	弱み
主体 A	現在	S	W
	将来	O	T
主体 B	現在	S	W
	将来	O	t

④ 相手補完

① 自己弱み確認

② 相手探索

③ 相手弱み確認

行政広報

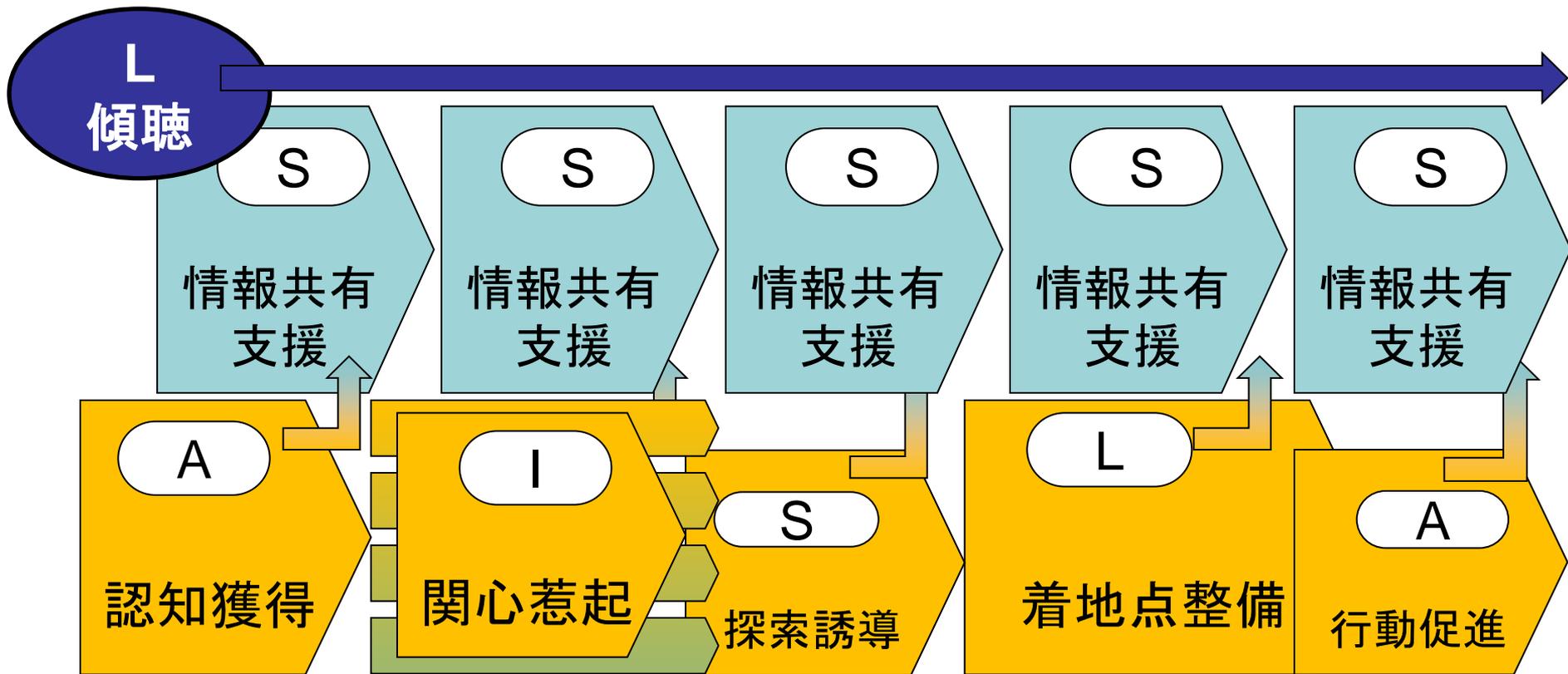
- 行政サービス広報
- 政策広報
- 地域広報 ～ シティプロモーションの要素～

どうなったら成功なのか



メディア活用戦略モデル

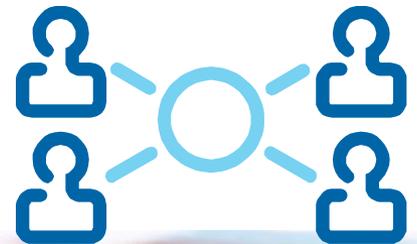
地域経営のステークホルダーの行動変容を促す **メディア活用**



傾聴しつつ、①魅力を認知させ、②魅力を「自分事」化させ、
 ③魅力を探索させ、④着地する的確な場所を整備し、
 ⑤魅力を活用させ、⑥各時点で情報を発信させる

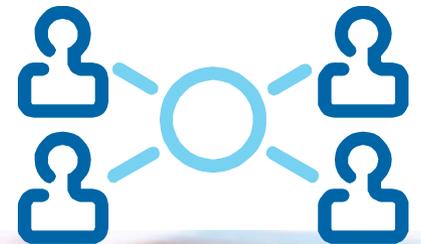
運営方針：理念

- 本学会は一般に開かれた議論を重要なものとするオープンネットワークを理念とする。
- 公共コミュニケーション（行政・議会・大学・**NPO**・医療福祉・ソーシャルビジネス等に係る広報・コミュニケーション）とは何かについて、考察し、研究及び実務支援を行う開かれたネットワーク型の組織とする。



運営方針：理念

- 研究誌（学会誌）や研究会記録など知的コンテンツもオンラインでオープンにする。
- オフラインの関係形成を重要なものと位置づけ、学会参加のインセンティブとする。
- 公共コミュニケーションを担う専門家の人材育成に貢献する。
- オープンネットワークを理念とすることから、設立過程についても一般に開き、多様な議論を可能とする。



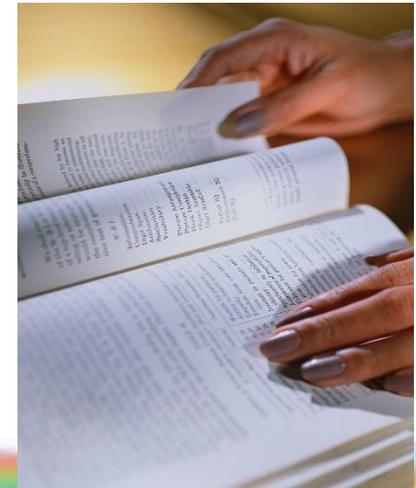
運営方針：運営

- 研究発表大会（+情報交換会）を例年開催とする。
- 研究発表大会や研究誌（学会誌）への（社会人を含む）大学院生・学部生等若手研究者のプレゼンスを積極的に認め、査読制度による業績化の支援を行う。
- 会員による研究会設置を奨励し、研究会プレゼンスの訴求を支援する。



運営方針：研究誌

- 年**1**回の刊行を行う。
- 投稿による査読付き論文のほか、会員による事例報告を積極的に掲載する。
- 公式サイトでの**pdf**による提供及び**kindle**による出版を行う。
- オンデマンド出版、**ISBN**番号付与、国会図書館納本について検討する。



設立大会

- **2014年6月7日（土）**
- 行政広報、議会広報、大学広報、**NPO**広報、医療福祉広報、ソーシャルビジネス広報その他社会的意義を持ちうる広報などの公共コミュニケーションに関心のある実務者、研究者や大学院生、学部生、一般社会人の交流を図るために行うものである
- スタジオプラス（小ホール） | 千代田区立日比谷図書文化館



設立大会

- 開会挨拶及び設立趣旨説明
野崎哲平（コミュニケーション科学研究所）
- シンポジウム（会場質疑）
「公共コミュニケーションを担う人材とは」

パネリスト

松下麻理氏

（神戸市広報官）

河尻和佳子氏

（流山市メディアプロモーション広報官）

大垣弥生氏

（生駒市広報広聴課広報広聴係長）

モデレーター 河井孝仁



設立大会

- 参加者の皆さんとの意見交換会
「あなたにとっての
『公共コミュニケーション』とは」
- 閉会挨拶
中田健吾（国際医療福祉大学）



設立大会

• ビジュアル・ミーティング

内閣府民営化委員会ノート

目的: 民間・官民共同の取り組み
 民間の役割

議題: 民間・官民共同の取り組み
 民間の役割

結論: 民間の役割

民間 → 官民共同 → 民間

民間
 20
 25

PRAS 公共コミュニケーション学会
Public Relations Association for Social sectors

みなが共に創っていく 学会に

2014年6月1日

公共コミュニケーション学会
**Public Relations Association
for Social Sectors
(PRAS)**

KAWAI Takayoshi

ご清聴ありがとうございました

河井孝仁

tk.kawai@nifty.com

@tacohtk

<https://www.facebook.com/tk.kawai>

<http://www28.atwiki.jp/tacohtk/>

